

令和5年度 赤屋小学校 学校評価について

<学校教育目標>

目指す子ども像 「あかるくたくましい子 かんがえつくりだす子 やさしく思いやりのある子」

<学校評価結果> ①～⑤：今年度の重点

- ・12月「児童アンケート（24名実施）」「保護者アンケート（20名実施）」より
- ・肯定的評価の割合を%で表示
(児童:「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」、保護者:「そう思う」「ややそう思う」)
- ・◎:前年比+6P以上 ▲:前年比-6P以上 ■:児童と保護者の意識の差が20P以上
○:成果 ●:課題 →:分析および改善策

①確かな学力の育成 「勉強大好き がんばる子」

質問項目	児童	質問項目	保護者
「～が分かるようになりたい。」「～ができるようになりたい。」というめあてや目標をもって、進んで勉強をしている。	96%	お子さんは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。	80%
勉強時間には自分でしっかりと考えている。	92%		
考えたことや思っていることを進んで友達と話したり、発表したりしている。	92%		
先生や友達の話をしっかり聞いている。	100%		
少し難しいと思うことにも、分かったり、できたりするまで、あきらめずにがんばっている。	96%		
正しく、本を読んだり、漢字を書いたり、計算したりすることができている。	92%	学校は、読み・書き・計算の基礎基本の定着に努めている。	▲90%
勉強や発表などで、ICTをよく使っている。	100%	学校は、ICT(タブレットや視聴覚機器)を有効に活用している。	▲80%
ICTを使った勉強や発表、説明は分かりやすい。	100%		
ICTを使った勉強は楽しい。	96%		
家庭学習を毎日しっかりとしている。	◎96%	お子さんは、毎日の家庭学習の習慣が身に付いている。	65%

○保護者の家庭学習に関する項目以外は80%以上だった。

→校内研究の推進や中国地方放送教育研究大会に向けた取組等により、ICT活用や自己決定のある授業づくりにおいて成果が現れている。

→楽しく、わかる授業を実践していく中で、達成感や自己肯定感を高め、考えることの重要性を実感させる。

●家庭学習への児童と保護者の意識の差に開きが大きい。

→低学年からスマイルドリルを活用し、家庭学習でも使えるようにする。自主学習の指導に力を入れ、ノートを紹介しあうなどして意欲を高める。

②健やかな体と強い心の育成 「自分も友達も大切に」

質問項目	児童	質問項目	保護者
学校に、楽しく安心して登校している。	▲80%	お子さんは、学校に進んで登校している。	▲85%
地域や家庭や学校で、進んで、元気よくあいさつをしている。	92%	お子さんは、地域や家庭、学校で、明るく元気な挨拶をしている。	◎80%
毎日、朝ごはんを食べて、登校している。	▲92%	お子さんは、毎日朝食をとって登校している。	90%
早ね・早起きをして、しっかりと(9時間ぐらい)寝ている。	88%	お子さんは、早寝・早起きに努め、睡眠時間を十分(9時間程度)とっている。	65%
学校や家庭で、元気よく体を動かして遊んだり、体づくりをしたりしている。	92%	お子さんは、学校や家庭で、元気よく体を動かして遊んだり、体づくりに取り組んだりしている。	▲85%
家庭での約束を守って、メディアコントロールに進んで取り組んでいる。	▲80%	お子さんは、家庭での約束を守って、メディアコントロールに取り組んでいる。	50%

○挨拶への意識が高まりつつある。

→1学期の振り返りをもとに、挨拶への指導に取り組んだ成果が表れつつある。引き続き、児童会とタイアップした活動や、保護者への呼びかけを行っていく。

●早寝・早起き、メディアコントロールへの児童と保護者の意識の差に開きが大きい。

→ノーメディアデー、早寝早起きへの取組を強化していく必要がある。PTA 総会や PTA 研修会の機会に啓発を行う。帰宅後もオンラインで友達と繋がっている実態がある。

③人権を尊重しあう学校風土の構築 「だれもが主人公」

質問項目	児童	質問項目	保護者
学校に、仲のよい友達がいる。	100%	お子さんは、学校に仲のよい友達がいる。	◎100%
縦割り班遊びや運動会などのちがう学年の人といっしょにする活動は楽しい。	96%		
係や当番、委員会の仕事などで、人の役に立っている。	92%		
先生方は、自分のよいところやがんばったことをほめてくれている。	◎100%	学校は、お子さんのよいところや頑張っているところを認め、伸ばすようにしている。	▲85%
先生方は、困ったことがあったときに、相談にのってくれたり、解決してくれたりしている。	◎96%	学校は、お子さんのトラブルや悩みに対して適切に対応している。	80%
友達や家族に、素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を言っている。	96%	お子さんは、友達や家族に、素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えている。	◎85%

○昨年度より評価が高まっている項目が多い。

→今年度は安来市学校人権・同和教育推進連絡協議会の研修会が本校であったため、授業づくりだけでなく、職員全体で人権教育についての研修を深め、取組を進めたことが成果につながったと考える。

④ふるさと教育（赤屋学）の充実 「ふるさと大好き 赤屋っ子」

質問項目	児童	質問項目	保護者
赤屋のことを知ったり、地域の方と体験活動をしったりすることは楽しい。	96%	学校は、地域の「ひと・もの・こと」に関わった学習を進めている。	95%

○ふるさと教育への評価が95%を超えている。

→地域や保護者の皆様のご理解とご協力により、今年度もふるさと教育を充実させることができた。

⑤学校図書館活用教育の推進 「図書館が心の居場所に」

質問項目	児童	質問項目	保護者
分からないことがあったときには、図書館を利用して進んで調べている。	▲60%	お子さんは、読書の習慣が身に付いている。	45%
進んで読書をしている。	84%		

●児童の図書館活用、保護者の読書習慣への評価が低い。

→今年度の貸出冊数は4,000を超え、目標を大きく上回った。調べ学習での活用、週末読書や親子読書の推進、学校司書の授業参加、必読書の教室掲示、掲示物の工夫や環境整備など、図書館活用教育充実のための手立てを考えている。

⑥その他

質問項目	保護者
学校は、教育方針に基づき教育を進めている。	▲80%
学校は、ホームページ、学校・学級便り、懇談会、学習発表会などでお子さん達の様子を分かりやすく伝えている。	▲90%
学校は、安全で安心して学べる環境づくりに努めている。	▲90%
学校は、来校者に対して適切に対応し、行きやすい雰囲気づくりに努めている。	95%
学校は、授業公開日や学級懇談会の回数・内容を適切に計画し、行っている。	95%

●昨年度より評価の下がっている項目がある。

→ホームページ、学校・学級便り等で、今後も本校の活動や学校経営についての情報を発信していく。

⑦保護者自由記述欄

- ・感染症が出た時に校支援で連絡が来ると、家庭でも子どもの様子をより気にかけてくれ、発熱等の症状があった時も受診の際に病院に伝えられるので助かっています。いつも温かく見守って頂きありがとうございます。
- ・これから学校と保護者、先生と児童との信頼関係を築いていくことに努めてほしいです。